

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部 第2回理事会（議事録）

1. 日 時

2018年7月2日（月）15時～17時

2. 場 所

北海道開発技術センター 大会議室

3. 出席者

14名－苫米地、杉山、尾関、伊東、小倉、岩間、イセンコ、天見、櫻井、飯塚、守護、荒川、杉田、金田（敬称略）

※進行役：杉山副支部長

4. 議 事

（1） 第1回理事会の議事録について

- ・ 第1回理事会議事録について承認を得た。

（2） 支部研究発表会の総括

- ・ 例年北海道大学学術交流会館で実施しているが、会場費が高騰していることから会場の変更を検討するか、参加費を徴収するか議論となった。会場使用料とも絡むことから、次年度は引き続き同会場で実施し、投稿料のみ徴収することとなった。
- ・ 来年の研究発表会は、2019年5月10日（金）、11日（土）で予約済み。
- ・ マスコミ関係者には共同通信の他に北海道新聞の記者も来ていた。
- ・ 今年度実施したオムニバス形式のセッションについて、様々な発表が聞けてよいという肯定意見の他、座長への負担を考える意見が挙がった。また、大きな枠組み（カテゴライズ）はあった方がいいという意見があった。

（3） 「北海道雪氷賞（北の風花賞、北の六華賞）」表彰選考委員の委嘱について 「北海道の雪氷」について

- ・ 天見理事より未提出が数名いる旨報告があった。
- ・ 今年度の雪氷賞選考委員は、委員長に天見理事、委員に苫米地理事、杉山理事、尾関理事、櫻井理事とすることを確認した。
- ・ 規定通り、筆頭著者かつ発表者であることが選考の条件であることを確認した。
- ・ 北の蛍雪賞については、次回の理事会で引き続き議論する。
- ・ 「北海道の雪氷」の巻頭言は杉山副支部長が担当する。

- (4) **2018 サイエンスパークへの出展について**
- ・ 出展準備状況について杉田理事より報告があった。
 - ・ 別枠予算での雪氷教育用購入備品の内容と数量については岩間会計担当と相談しながら、担当理事で決定することとなった。
- (5) **地域講演会について**
- ・ しりべし空き家バンク協議会、旭川市と協議している状況について、高倉理事からの聞き取り内容を伊東理事から報告があった。
 - ・ 今年度中に1件は開催することを目標とすることとなった。
 - ・ 2件とも開催できる場合は、今年度中に2回になってもよいことを確認した。
 - ・ 協力、後援は地域講演会としないことが決定された。
 - ・ 上記を踏まえて、子細は担当理事が進めていくこととなった。
- (6) **本部委員について**
雪氷研究の系譜について
- ・ 本部役員(案)について、承認を得た。(編集委員→伊東理事、事業委員→尾関理事)
 - ・ 残部となっていた雪氷研究の系譜について、大学図書館3館、中核市公共図書館1館に寄贈したことが報告された。
- (7) **2018年度の雪氷研究大会について**
- ・ 準備状況や研究発表登録状況について杉山理事より報告があった。
 - ・ 各学会の授賞式と講演会について、当日のスタッフの役割を事前に細かく決めておいた方がよいという意見があった。
- (8) **その他**
- ① **支部HPの更新状況の報告**
- ・ 北海道支部会員向けのメーリングリストについて、現状の会員情報との整合が取れていないことについて報告や議論があった。
 - ・ この件について、庶務担当が本部の持つ支部会員情報を取り寄せるとともに、メーリングリストの現状について確認を行うこととなった。
- ② **雪崩コンパニオンについて**
- ・ セミナーの後援を依頼された旨、担当理事より報告があった。後援については基本的に了承するが、配付資料で主催者が明示されていないことから担当理事が確認して報告することとなった。
- ③ **次回理事会について**
- ・ 11月5日15時から、北海道開発技術センターにて開催を予定する。

以 上